

## 資料 4 - 3

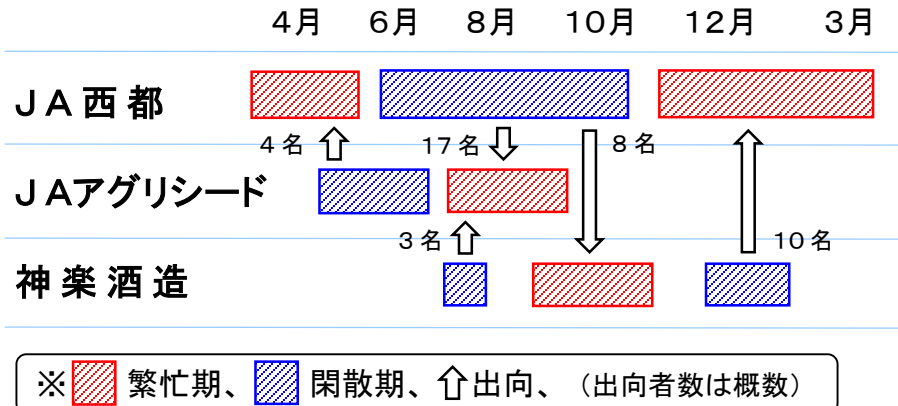
九州農政局 宮崎県拠点

# 農業分野における在籍型出向の事例について ～労働力の季節的変動にも計画的に対応できる環境づくりを～

九州農政局  
宮崎県拠点  
(R5年1月)

## 取組事例 (3社の取組)

～令和3年度実績



## ジェイエイ・アグリシード(株)

### ○ 良かった点

- ・短期雇用では、人員確保が難しい中、雇用確保の見通しが立つ。
- ・閑散期の収入を得たいため働きたい者が出向を希望。

### ○ 苦労した点

- ・双方の雇用条件や業務内容、管理事務などの違い。

### ○ 課題

- ・参加企業を増やしたいが、双方の雇用条件、業務内容、通勤範囲など課題が多く簡単ではない。



## 西都農業協同組合 (JA西都)

### ○ 良かった点 (令和4年度は6社へ48名が出向)

- ・採用の際に、連携企業への出向についても納得のうえ採用しているので、計画的に取り組める。
- ・閑散期に仕事(収入)があるため、雇用の確保ができる。

### ○ 課題

- ・出向先の選択肢を多くしたいが、管理が煩雑。
- ・出向者の通勤が可能な範囲の企業を選定する必要がある。



## 神楽酒造(株)

### ○ 良かった点

- ・出向先で残業があり、手取りが増えたため次回希望する者もいた。
- ・確実に採用できるため、派遣会社への依頼人数が減少(受入時)。
- ・外で働くことで、良い経験になった。
- ・社内で体験報告会(反省会)を実施。

### ○ 苦労した点

- ・連携企業との休日、勤務時間が異なり調整が必要。
- ・災害等で余剰人員が出るなど、突発的な場合の対応が必要。

### ○ 課題

- ・出向者の休暇がタイムリーに把握できない。
- ・コミュニケーションを図るため、定期的に出向先へ出向くことを検討。

